

日本発の絵文字、世界の共通語になりつつある

2014年 4月19日

1964(昭和39)年の東京オリンピックはアジアで初めて開催されたオリンピック。1945年の第二次世界大戦の敗戦国、世界初の原爆を投下され国土を破壊された日本だが、世界の人々が予想もしない速さで、短期間に戦後復興をはたした。その後、「東洋の奇跡、英語ではJapanese miracle)と言われる高度経済成長をはたし、戦後たった23年後の1968(昭和43)年には西ドイツを抜き、なんと世界GDP2位の経済大国に躍進した。2014年現在、中国に抜かれ3位に甘んじているが、中国の人口が日本の10倍であることを考えると、日本の10倍のGDPを中国が持って初めて日本と対等になる。依然として日本はグローバル経済社会で強い影響力を持っている。

世間ではあまり知られないが、東京オリンピックは世界のデザイン界に革命をもたらしたオリンピックでもあった。東京の街中や会場のトイレ(男女別)や駐車場、エレベーター・レストラン、競技の種目の説明に言葉にプラスし絵文字が採用された。これは世界のデザイン界で初めてのことで世界のデザイナーは皆、大変、驚いた。絵文字は日本発の文化なのです。

世界から多種多様の言語を使う人々が日本を訪れた。絵文字は言葉の代用をしてきていて大好評、その後、絵文字は世界に広がっていった。

日本人の、おもてなしの心が、誰でも見れば判る絵文字を開発し、言語と並行して使い、世界からのお客様に大変喜ばれたのです。

2010年代に入り、スマホが世界的に急速に普及してきた。スマホのメールで文字だけであったコミュニケーションにプラスし新たに絵文字が日本で開発され、文字と絵文字の双方が使われるようになった。微妙なニュアンスを伝えるために開発された絵文字が好評で現在、世界に広がりは始めている。

外国の絵文字に比較し、日本の絵文字はイメージがし易いということで人気が高い。

文字だけでは表現できない、微妙なニュアンスを日本発の絵文字は伝えてくれる...ということで世界の共通言語になりつつある。



入力した本文に合わせて、ワンタッチでデコメ絵文字やデコメピクチャを簡単に挿入することができます。

